

三菱食品株式会社

2021年度(2022年3月期)

第1四半期決算説明資料

2021年8月4日

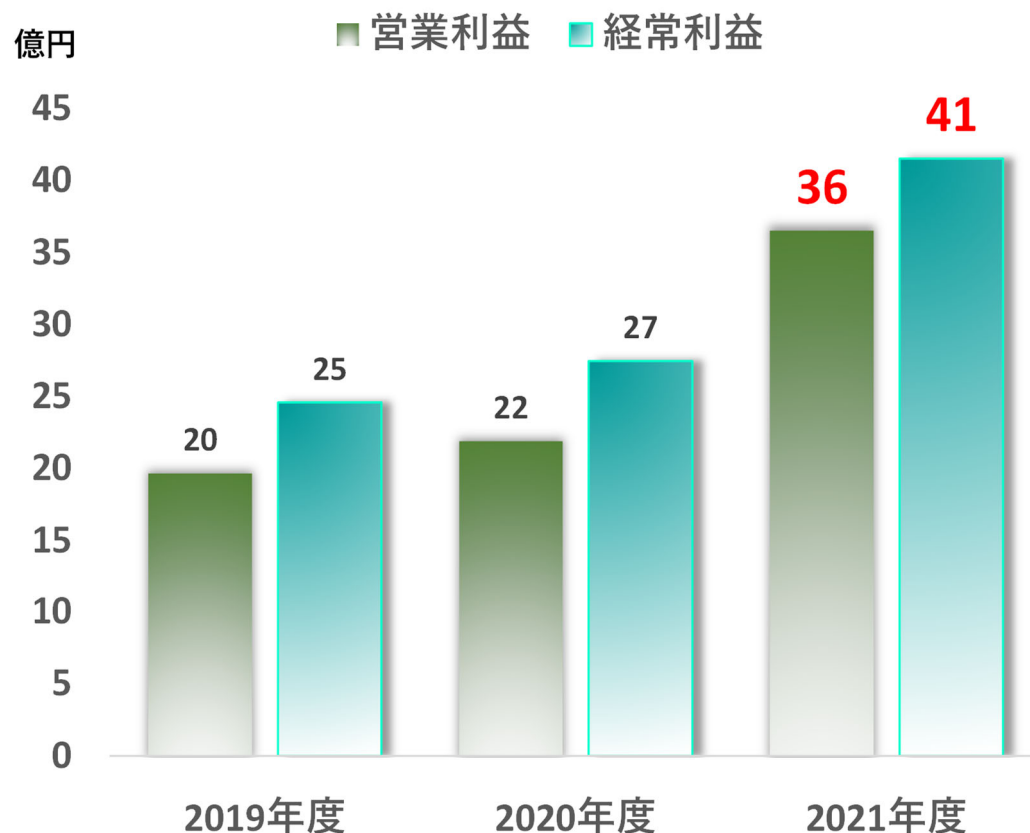


【お知らせ】

当社は2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」
(企業会計基準第29号)等を適用しております。
なお、当資料においては、2020年度を同基準に組替えて
表記しております。

業績トピックス

< 図1：第1四半期 営業利益・経常利益推移 >



< 図2：EPSの進捗 >



- ◆ 利益面は、物流効率化施策等による物流コストの改善に加え、コロナ禍の働き方変化による営業費の削減等により、当第1四半期においては 営業利益・経常利益 とともに前期比大幅に伸長(図1)
- ◆ 2021年度業績予想に基づく一株当たり当期純利益も伸長予定(図2)
※2021年5月27日付公表済の自己株式取得考慮後の数字にて表示しております

2021年度(2022年3月期)第1四半期 連結業績(前期比)

(単位:億円)

	2020年度※	2021年度	前期比増減	
	実績	実績	金額	率
売上高	5,034	5,008	▲26	▲0.5%
営業利益	22	36	15	66.8%
経常利益	27	41	14	51.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	29	30	1	3.1%
1株当たり 四半期純利益(円)	51.58	53.19	1.61	

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高実績を組替えております。

- ◆ 売上高は、CVS業態等を中心に回復基調が見られるものの、前年の家庭内食品需要の反動減や取引の見直し等もあり前年並みに推移
- ◆ 営業利益・経常利益は、物流効率化施策による物流コストの改善や営業費の削減等により、大幅に増益
- ◆ 四半期純利益は、前年の固定資産売却益等に伴う特別利益の反動減をカバーし、増益

(単位:億円)

ご参考:収益認識基準適用前

	2020年度	2021年度	前期比増減	
売上高	6,403	6,423	20	0.3%

2021年度(2022年3月期)第1四半期 品種別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2020年度※		2021年度		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
缶詰・調味料類	633	12.6	610	12.2	▲23	▲3.6
麺・乾物類	373	7.4	342	6.8	▲32	▲8.5
嗜好品・飲料類	602	11.9	609	12.2	8	1.3
菓子類	678	13.5	690	13.8	13	1.8
冷凍・チルド食品類	1,213	24.1	1,184	23.6	▲28	▲2.3
ビール類	604	12.0	642	12.8	37	6.2
その他酒類	509	10.1	507	10.1	▲3	▲0.5
その他	422	8.4	424	8.5	2	0.5
合計	5,034	100.0	5,008	100.0	▲26	▲0.5

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高実績を組替えております。

- ◆「缶詰・調味料類」「麺・乾物類」は、前年の家庭内食品需要の反動減により減収
- ◆「冷凍・チルド食品類」は、採算管理の徹底に伴う取引の見直し等により減収
- ◆「ビール類」は、一部業態との取引伸長に加え、家飲み需要の高まりによる家庭用商材が好調に推移し増収

2021年度(2022年3月期)第1四半期 業態別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2020年度※		2021年度		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
卸売	363	7.2	411	8.2	49	13.5
SM	2,584	51.3	2,459	49.1	▲126	▲4.9
CVS	975	19.4	1,006	20.1	31	3.2
ドラッグストア	421	8.4	382	7.6	▲39	▲9.4
ユーザー(注1)	84	1.7	79	1.6	▲5	▲5.7
その他直販(注2)	514	10.2	570	11.4	56	11.0
メーカー・他	94	1.8	101	2.0	8	8.4
合計	5,034	100.0	5,008	100.0	▲26	▲0.5

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高実績を組替えております。

(注)1. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。

(注)2. その他直販はディスカウントストア・EC事業者・ホームセンター・百貨店等であります。

◆「SM」は、前年の家庭内調理が増加したことによる反動減や取引の見直し等により減収

◆「その他直販」は、ディスカウントストア等との取引伸長やEC事業が好調に推移したこと等により増収

2021年度(2022年3月期)第1四半期 セグメント別業績(前期比)

(単位:億円)

	売 上 高				営 業 利 益		
	2020年度※	2021年度	増減額	増減率(%)	2020年度	2021年度	増減額
加工食品	1,765	1,703	▲62	▲3.5	5	8	3
低温食品	1,415	1,403	▲13	▲0.9	11	22	11
酒類	1,167	1,205	38	3.2	8	6	▲2
菓子	682	692	10	1.5	2	4	2
その他・調整	5	6	1	10.5	▲4	▲3	1
合 計	5,034	5,008	▲26	▲0.5	22	36	15

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高実績を組替えております。

- ◆加工食品：前年の家庭内食品需要の反動減による減収も、販管費の改善等により増益
- ◆低温食品：一部取引の見直しがあったものの、業務用商材の回復や物流コストの改善等により増益
- ◆酒 類：ディスカウントストア等との取引伸長に加え家庭用商材が好調に推移したものの、受取りバートの契約期間変更等により減益
- ◆菓 子：CVS業態の回復や輸入菓子の取扱が好調に推移したこと等により増収増益